

2012 年度事業報告書

I 事業概要

当協会は、滋賀県における国際交流活動を推進する中核的な団体として幅広い国際交流事業を展開しており、2012 年度は、より身近に県民に国際交流を感じてもらうため、県の事業に参画して子ども向け体験プログラム「世界を体験しよう！」などの事業を行った他、外国にルーツを持つ青少年の進路選択の一助となるよう「キャリアデザイン研修」に新たに取り組んだ。その他、地域における外国人住民に対し多岐にわたる支援に努め、行政、民間団体、NPO間の連携を促進し、外国人住民が地域の一員として生活しやすい共生社会づくりに取り組み、なかでも啓発グッズとして「緊急時の心得」手拭いの作成と配布により、外国人住民が安心して滋賀県で暮らせるように努めた。

また、学校教育や社会教育で行われる国際教育を推進するため、国際教育に関する実践例や教材等の情報提供に努めるとともに、海外経験を持つ方向けの伝え方講座を開催するなど、人材の育成に取り組んだ。

II 事業実績

[自主] : 自主事業、[助成] : 助成事業、[補助] : 補助事業、[委託] : 委託事業

《 国際感覚に優れたひとづくり 》

1 国際教育啓発事業

(1) 国際教育・開発教育の普及 (オリジナル開発教育教材の普及) [自主]

① オリジナル開発教材

独自に開発した国際教育教材の普及を図るため、ワークショップの開催や講師派遣による実演教材の貸出、販売等を行った。

- 「ブラジルボックス」
貸出件数： 36件
うち、講師派遣数： 5件
- 「カルタ わたしん家の食事から」
貸出件数： 7件
- 「非識字体験ゲーム」
貸出件数： 3件
販売数： 22セット
- 「言葉がわからない」体験ゲーム震災編
貸出件数： 4件
販売数： 30セット

●オリジナル教材によるワークショップの実践

◇岡山県国際交流協会 国際理解ワークショップ 8月4日(土) 等

② 国際教育教材体験フェアの開催 (共催：JICA 関西)

- 国際教育教材体験フェア in 滋賀
開催日：5月26日(土)
会場：ピアザ淡海(大津市)
参加者：43人

③ 国際教育教材の貸出（オリジナル教材除く）

・所蔵数：547冊／点

・貸出件数 45件、貸出点数 延べ133点（オリジナル教材を除く）

(2) 国際教育の研究 [自主]

① 国際教育研究会「Glocal net Shiga」による教材開発検討会等の開催

研究会開催回数：11回、参加者：延べ74人（開催日：参加者）

(4/15：6人、5/26：11人、6/16：6人、8/18：7人、9/2：4人、10/21：4人、
11/10：4人、12/18：9人、1/14：7人、2/24：6人、3/23：10人)

② オリジナル教材改訂のための研究

2006年に発行したオリジナル教材「カルタ わたしん家の食事から」に完
売後も問い合わせが多数あるため、例会において、改訂版発行に向けた研究
に取り組んだ。

(3) 国際教育の担い手の育成 [自主]

① ファシリテーター養成講座の開催（共催：JICA 関西）

○国際教育ワークショップ

「地球市民を地域とともに育てよう Part 11 多文化共生文化を育む人間関
係トレーニング ～「つながる」ための三つの力～」

講師：HEALホリスティック教育実践研究所所長 金香百合さん

開催日：1月14日（月・祝）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：28人

② 海外経験を持つ方対象の伝え方講座の開催（共催：JICA 関西）

○「参加体験型（ワークショップ）をつかった伝え方講座

講師：国際教育研究会 Glocal net Shiga

大槻一彦さん（京都市立堀川高校教諭）

開催日：11月10日（土）

会場：ピアザ淡海（大津）

参加者：20人

③ 国際教育の相談対応・出張講座のコーディネート

ア．国際教育講師紹介、教材・授業案に関する相談対応：98件

イ．講師派遣研修：36件

ウ．講師（国際協会職員）派遣、訪問研修受入

| | | | |
|----------|----------------|--------|------|
| ●6/18 | 甲賀市立甲南第3小学校 | 参加者 | 19人 |
| ●6/26・28 | 初任者研修（高等学校） | 参加者 延べ | 67人 |
| ●8/9 | 10年経験者選択研修 | 参加者 | 11人 |
| ●8/22 | 石山高校人権フィールドワーク | 来所者 | 18人 |
| ●10/11 | 石山高校教員対象人権研修 | 参加者 | 37人 |
| ●10/15 | 大津市立仰木中学校 | 参加者 | 80人 |
| ●10/17 | 国際情報高校一年生人権学習 | 参加者 | 240人 |

| | | | | |
|-----------|--------------------|-----|----|------|
| ●11/20・22 | 初任者研修（中学校） | 参加者 | 延べ | 80人 |
| ●11/22 | 栗津中学校地域学習（JICA 協働） | 来所者 | | 20人 |
| ●2/5 | 彦根市立稲枝中学校（JICA 協働） | 来所者 | | 22人 |
| ●2/19 | 守山市立吉身小学校4年生 | 参加者 | 延べ | 130人 |
| ●2/20 | 甲賀市立油日小学校5年生・6年生 | 参加者 | 延べ | 80人 |

エ. 国際教育協働推進事業報告書の発行（3月）

オ. アドバイス等

- ・「青少年社会参画促進事業運営委員会」委員（主催：滋賀県）
- ・「開発教育協会関西ブロック運営委員会」委員
（主催：（特活）開発教育協会）
- ・「地域に向き合うファシリテーター」研究会メンバー
（主催：（特活）開発教育協会）

○県教育委員会主催「学校支援メニュー」ブース出展（8月7日）

④ 「国際教育」に関する教員研修への参画

滋賀県総合教育センターより依頼の研修の開催

◇初任者研修（高等学校）「国際教育～多文化共生と外国人生徒への対応～」

講師：国際教育研究会メンバー 2人×2日間

会場：滋賀県総合教育センター（野洲市）

開催日及び参加人数：

6月26日（火） 34人

6月28日（木） 33人

◇10年経験者研修「国際理解教育」

講師：国際教育研究会メンバー 4人

会場：ピアザ淡海（大津市）

開催日：8月9日（木）

参加者：11人

◇初任者研修（中学校）「国際教育～多文化共生と外国人生徒への対応～」

講師：国際教育研究会メンバー 2人×2日間

会場：滋賀県総合教育センター（野洲市）

開催日及び参加人数：

10月25日（火） 35人

10月27日（木） 42人

2 国際交流推進事業

(1) 裾野を広げる国際交流～身近な異文化体験～ [委託] [自主]

① JCMU 留学生と一っしょに、親子ハイキング

開催日：9月22日（日）

場所：ミシガン州立大学連合日本センター（JCMU）および長浜市黒壁周辺

参加者：日本人親子25人、JCMU 留学生17人、大学生サポーター6人

合計48人

② 世界を体験しよう！「ぐろーかる・カフェ」

開催日：8月7日（火）

会場：ピアザ淡海 当協会国際情報サロン（大津市）

*「しが☆まなび☆発見」（主催：滋賀県教育委員会）の体験イベントの一つとして開催

ブラジル編：参加者20人、講師：ジェロニモ ゲレスさん

フィリピン編：参加者22人、講師：山本 グレイスさん

その他：世界の民族衣装を体験しよう！（JICA 滋賀デスク）

（2）ミシガン州立大学連合日本センター（JCMU）の管理運営 [委託][自主]

①施設の維持管理

センター棟や宿舎棟など日本センター施設の維持管理を行った。

②英語プログラムの企画推進

JCMUが実施する各種英語講座について、プログラムの企画、受講を促すための広報・宣伝活動、関係機関との連絡調整、受講者からの相談対応等を行った。

| 講座名 | 受講者数 |
|--------------------------|------|
| 県民向け英語講座（年4学期） | 200名 |
| うち彦根コース | 119名 |
| うち大津コース | 32名 |
| うち栗東コース | 49名 |
| 土曜こども英語教室（彦根）（年2学期） | 51名 |
| 高校英語講座（米原高校・彦根東高校） | 127名 |
| 県立看護専門学校英語講座 | 25名 |
| 滋賀大学 TOEFL 講座（教育学部・経済学部） | 51名 |
| 国内留学 | 28名 |
| 米原市多文化共生協会英語講座 | 12名 |
| 合計 | 494名 |

ア. 県民向け英語講座パンフレットの作成・配布

作成部数：6,000部/回

作成配布：4回（6月：夏学期、8月：秋学期、11月：冬学期、3月：春学期）

イ. 土曜子ども英語教室パンフレットの作成・配布

作成部数：6,000部/回

作成配布：2回 <9月、3月>

③広報啓発事業

ア. HPによる情報発信

イ. ニュースレターの作成・配布

発行回数：年2回（No.54・No.55）

発行部数：計3,500部/回

ウ. 公開講座の開催

- 【Ⅰ】テーマ：「効果が実感できる実践英語学習法」(英)
 講師：マリリン シュライフ JCMU 教官
 会場：①ミシガン州立大学連合日本センター ②ウイングプラザ栗東
 開催日及び参加人数：①9月1日(土) 34人
 ②9月8日(土) 46人
- 【Ⅱ】テーマ「アメリカの選挙制度について」(英)
 講師：ベンジャミン マクラケン JCMU 所長
 開催日および参加者：10月6日(土)、39人
 会場：ミシガン州立大学連合日本センター
- 【Ⅲ】テーマ：「世界を旅しよう」(英)
 講師：ドナルド シュライフ 元ミシガン州派遣英語教員
 会場：①ミシガン州立大学連合日本センター ②滋賀県教育会館(大津市)
 開催日及び参加人数：①12月2日(土) 20人
 ②12月8日(土) 12人
- 【Ⅳ】テーマ「JCMUで学んだこと」(英・日)
 発表者：JCMU留学生3名・英語プログラム受講者3名
 コーディネーター：ベンジャミン マクラケン JCMU 所長
 開催日および参加者：12月8日(土) 25人
 会場：ミシガン州立大学連合日本センター
- 【Ⅴ】テーマ：「英語学習者の語彙レベルと英文の読みやすさの判定について」(英)
 発表者：ミシガン州立大学イングリッシュランゲージセンター
 ローレンス ツヴァイヤー副所長
 開催日および参加者：2月23日(土)、26人
 会場：ミシガン州立大学連合日本センター
- 【Ⅵ】テーマ：「英単語の背景・英語発音の戸惑いについて」(英)
 発表者：ミシガン州立大学イングリッシュランゲージセンター
 スターラ ディートリッヒ講師
 開催日および参加者：3月9日(土)、25人
 会場：ミシガン州立大学連合日本センター
- 【Ⅶ】テーマ：「アメリカの少女達から見た日本の生活」(英)
 発表者：ノーザンイリノイ大学歴史学部
 エバーレット テイラー アトキンス教授
 開催日および参加者：3月23日(土)、24人
 会場：ミシガン州立大学連合日本センター

(3) 県民との交流事業・姉妹都市交流推進事業

[委託][自主]

- ・週末ホームステイのコーディネート
 年3回 登録家庭 71世帯
 JCMU留学生受入人数 延べ41名
- ・日本センターと地域との交流プログラムの実施
 地域との交流プログラムコーディネート件数 27件

(4) ミシガン州友好親善使節団の派遣 [自主]

ミシガン州友好親善使節団の派遣

派遣人員：39人

派遣期間：8月23日～31日（うちホームステイ5泊6日）

滞在姉妹都市等

ランシング市、デウィット市、エイドリアン市、マーシャル市、バーミング
ハム市、ペトスキー市、アナーバー市、バトルクリーク市、グランドラピッ
ズ市、ホランド市

(5) 姉妹友好州省との交流 [委託] [自主]

○湖南省人民政府代表団の受入

① 受入人員 10人

受入期間 7月4日（水）～6日（金）（3日間）

② 受入人員 2人

受入期間 3月25日（月）～28日（木）（4日間）

3 国際協力の促進

海外技術研修員の受入 [委託]

受入人員：3人（中国湖南省 2人、ブラジル 1人）

受入期間：8月20日～12月20日（4ヶ月間）

専門技術習得：環境監測【県琵琶湖環境科学研究センター】

観光業務【県観光交流局】

ロボット工学【立命館大学理工学部】

《 多文化共生の地域づくり 》

1 外国人住民への支援

(1) 外国人相談窓口 [補助]

県内の外国人住民等からの医療や教育など様々な相談に対して、必要な情報の提供や助言を行った。

対応言語：ポルトガル語、スペイン語

相談日時：月曜日～金曜日 10:00～17:00

相談件数：827件（前年度 860件、対前年度比 △3.8%）

相談内容：医療 159件（構成比：19.2%）、教育 82件（9.9%）、在留資格 75件（9.1%）、生活 262件（31.7%）、労働 87件（10.5%）、住宅 18件（2.2%）、その他 144件（17.4%）

(2) 外国人相談員等研修会、連絡会議の開催 [補助]

ア. 研修会

○第1回研修会

開催日：6月4日（月）

会場：ピアザ淡海（天津市）

講師：大阪入国管理局総務課 渉外調整官 田北 雅也さん

テーマ：「新たな在留管理制度説明会 ～7月施行にあたって～」

参加者：39人

○第2回研修会

開催日：3月7日（木）

会場：ピアザ淡海（大津市）

講師：滋賀県立精神医療センター

滋賀県立精神保健福祉センター 辻本 哲士さん

テーマ：「精神的な問題を抱える相談者への支援と相談員の心のケア」

参加者：15人

イ. 連絡会議

第1回：6月4日（月）15人、第2回：3月7日（木）13人

(3) 外国人向け情報紙「みみタロウ」の発行 [補助] [自主]

発行回数：年6回（No. 93～No. 98（偶数月発行））

発行部数：計20,000部/回

（内訳）日：4,000部、英：2,900部、ポ：4,600部、ス：2,800部、
ハ：1,700部、中：2,600部、台：1,400部

(4) 外国人住民サポーター養成講座の開催 [補助]

開催日：12月26日（水）

会場：ピアザ淡海（大津市）

講師：とよなか日本語教室スーパーバイザー 田中 薫さん

テーマ：「外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導者養成講座 Part VI」

受講者：50人

(5) 外国人住民サポート事業

○外国にルーツを持つ子どもへの教育支援

ア. 多言語での進路ガイダンスの開催 [助成] [自主]

第1回 開催日：6月17日（日）（共催：長浜市教育委員会）

会場：勤労者福祉会館「臨湖」（長浜市）

参加者：37人

第2回 開催日：7月29日（日）

会場：近江八幡市文化会館小ホール（近江八幡市）

参加者：40人

第3回 開催日：10月21日（日）

会場：滋賀県立水口高等学校セミナーハウス（甲賀市）

参加者：21人

*フィリピン（タガログ）語の資料の発行

職業案内資料（「みみタロウ」編集）追加

イ. 外国にルーツを持つ高校生への職場見学・キャリアデザイン研修 [助成] [自主]

第1回 「職場見学・キャリアデザイン研修」

開催日：2012年7月26日（木）

会 場：聖泉大学（彦根市）、県内企業（愛荘町）

参加者：外国にルーツを持つ高校生 16人（県内5校、5ヶ国）

概 要：午前にはコミュニケーションを促すゲーム形式の活動を行い、
午後には県内の製菓会社の工場・事務所等の見学、見学の
ふりかえりを行った。

第2回 「先輩と語る会」（座談会形式）

開催日：2012年12月18日（火）

会 場：滋賀県立清陵高等学校昼間部（大津市）

参加者：外国にルーツを持つ高校生 8人（県内2校、3ヶ国）

概 要：外国にルーツを持ち、大学進学や一般の企業などで就職さ
れている先輩を迎え、座談会形式で高校生と直接語る場を
設けた。

（6）その他の外国人支援 [自主]

① 日本語教育の支援

ア. 日本語指導者養成講座の開催（共催：びわこ日本語ネットワーク）

8/5、8/26、9/9、9/16（全4回）

講 師：同志社大学講師 原田 朋子さん

ボランティア日本語教室スマイル代表 吉岡 俊之さん

会 場：いきいきふれあいセンター（近江八幡市）

受講者：40名／各回

イ. 「第9回外国人による日本語スピーチ大会」（びわこ日本語ネットワー
ク主催）への開催協力

開催日：2月10日（土）

会 場：栗東芸術文化会館さきら（栗東市）

参加者：380人（日本人 300人、外国人80人）

滋賀県国際協会会長賞：「実習生の生活」

ヴォー チン リンさん（ベトナム）

② 県内日本語教室等の情報提供

外国人向け情報紙およびホームページで県内日本語教室や外国人相談窓口
情報を提供（日本語・ポルトガル語・英語）を行った。

③ 日本語教材・ブラジル教科書・関連図書の貸出

教材蔵書数： 216冊 貸出件数：26件、延べ83冊

ブラジル教科書蔵書数：51冊、貸出件数：3件、延べ52冊

④ 多言語情報の提供等

外国語が通じる病院の情報提供：9月に滋賀県病院協会の協力により調査
実施し、随時HPで情報更新を行った。（日本語、ポルトガル語、英語）
その他の情報も随時更新した。

⑤ 災害時外国人支援

ア. 近畿ブロックでの災害時外国人支援の検討 [自主]

研究会 5回

研修会

・「防災ワークショップ ～領事館と連携して～」（大阪市：11月8日）

・緊急時近畿連絡網確認訓練（11月8日）

- ・2012 多言語支援センター設置／避難所宿泊訓練
(京都市：10月13日・14日)
- ・災害時通訳・翻訳研修(京都府：1月27日)
- イ. 防災関係機関・団体とのネットワークづくり
滋賀県災害ボランティア連絡協議会(事務局：滋賀県社会福祉協議会)
ワーキンググループおよび委員として参加。
滋賀県総合防災訓練における電話による外国人対応訓練への協力。

(7) 外国籍学生等への奨学金の支給 [自主]

びわこ奨学金支給事業(基金：3億円)

- ・留学生 支給額：月額20,000円 支給人員：14人(申請42人)
- ・外国籍大学生 支給額：月額20,000円 支給人員：3人(申請6人)
- ・外国籍高校生 支給額：月額5,000円 支給人員：32人(申請52人)

○びわこ奨学金授与式：7月15日(日)

○奨学金検討会の実施

第1回：11月7日(水)、第2回：11月27日(火)

検討会メンバー：関西アーバン銀行、滋賀県観光交流局、滋賀県国際協会

2 多文化共生によるまちづくり

(1) 防災から広げる共生のまちづくり

① 外国人向け啓発グッズ「緊急時の心得」手拭いの作成・配布 [助成]

緊急時に消防・警察(火事、救急、事件・事故)への通報が出来るよう、啓発グッズを作成した。

作成数：2,000枚

配布先：防災啓発イベント参加者、県内市町および国際交流協会等窓口、日本語教室、外国人学校、地域開催での防災訓練および防災関連研修会、県内消防各本部等

② 防災啓発イベントの実施

「ええやんか!おうみ多文化交流フェスティバル(草津市ロクハ公園)外国人向け防災啓発コーナー」の実施(起震車、非常食体験等)

→9月30日開催予定だったが、台風のため中止。

③ 東日本大震災をポルトガル語で聞く・語る会の実施

「東日本大震災をポルトガル語で聞く・語る会」

講師：大槻 ヴァレリア ハルエ氏

【湖南省会場】

日時：12月1日(土)

会場：中央まちづくりセンター

参加者：15名

【長浜市会場】

日時：12月2日(日)

場所：ブラジルレストラン エルドラド

参加者：12名

④ 消防署員への外国人対応に関する研修会の実施

消防職員向け研修

日時：5月10日（木）

会場：滋賀県消防学校（東近江市）

講師：国際教育研究会講師、滋賀県国際交流員

参加者：初任者51名、幹部3名

内容：緊急時・災害時の外国人対応について

「言葉がわからない」体験ゲーム、消防英語による対応

⑤ 多言語非常持出袋、災害時外国人支援のための多言語資料の貸出

貸出件数：4件

⑥ その他（コーディネート等）

○内閣官房・県実施国民保護共同訓練への参加コーディネート

日程：10月20日（土）

場所：野洲市JR車両基地・市健康福祉センター

内容：電車爆破テロを想定した国民保護共同訓練に外国人対応訓練をあわせて実施。発生後救出訓練、トリアージ、安否確認、医療対応、避難所対応の各訓練に参加。

○NHK防災ピックアップコーナーで災害時の外国人対応事例について紹介。

○滋賀県警・国際協会 防災啓発事業の実施

● 啓発チラシの作成

警察官の巡回連絡や防災・防犯イベントの際に外国人世帯向けに配布するちらしを作成、翻訳。ちらし作成部数：5000部

● ブラジル人学校における防災授業・避難訓練の実施

日程：1月17日（木）

場所：サンタナ学園（愛荘町長野）

実施協力：県防災危機管理局、観光交流局国際室、愛荘町国際交流協会、愛荘町さざなみ会

○その他防災事業相談対応：4件

(2) 多文化共生に関する情報提供やアドバイス等 [自主]

① 外国人住民支援・多文化共生に関する相談対応：91件

② アドバイス等

● 「外国人児童生徒受入促進事業運営連絡協議会」委員

外国人児童生徒受入促進フォーラムブース出展協力(10/6)

● 「外国人集住都市会議地域ブロック会議（三重・滋賀・岡山）へのオブザーバー参加

● 長浜市多文化共生推進施策策定委員会委員

● （公財）滋賀県人権センター 月刊情報誌『じんけん』シリーズ「多文化共生」コーディネート（年間）および寄稿（4月・3月）

○講師（国際協会職員）派遣

● 7/23 愛知川小学校教員研修

受講者 50人

● 7/31 能登川南小学校夏季校内研修（人権教育）

受講者 30人

- 8/7 地域リーダー養成講座「外国人の人権」 受講者 34人
- 8/20 滋賀県立八日市高校夏季職員研修会「外国にルーツを持つ子どもの現状」 受講者 45人
- 11/6 立命館大学理工学部連携講座 受講者 80人
- 11/6 琵琶湖博物館「『新琵琶湖博物館の創造』にかかるピアレビュー」 参加者 20人
- 2/6 2012年度人権問題研修指導者養成研修「外国人の人権」職員研修（主催：滋賀県政策研修センター） 受講者 39人

《情報収集・提供による環境づくり》

1 情報収集・提供事業

(1) 国際交流・協力情報誌「SIA しーあ」の発行 [補助・自主]

発行回数：年4回

88号（7月）、89号（9月）、90号（12月）、91号（3月）

発行部数：2,500部/回

(2) メールマガジン「滋賀県国際交流ニュース」の配信 [自主]

発行回数：毎月1回

送信件数：300件/回

(3) インターネット・ホームページによる情報提供 [自主]

ア. 協会ホームページアクセス数：36,689アクセス

月平均：3,057アクセス

イ. SIA活動ブログアクセス数：8,149アクセス

(4) 国際情報サロンによる情報提供 [自主]

ア. サロン展示

- 県内ボランティア日本語教室の活動紹介（9教室）
- おしえて世界のこと？「食事のときに何を飲みますか？」
- SIA外国人防災啓発事業の紹介
- 滋賀県在住ペルー人絵本作家の絵画展紹介

イ. 交流スペースの貸出 39回（日本語教室、中学生訪問研修会場等）

ウ. 国際情報サロン図書等の貸出（日本語教材、国際教育教材を除く）

・貸出：5件、7冊/本

国旗の貸出 ・貸出：8件、延べ19ヶ国（普通旗・卓上旗）

(5) 関連機関・団体との連携・協働による事業実施 ※再掲

- ・ 県教育委員会、市教育委員会等（進路ガイダンスの実施）
- ・ 滋賀県進路保障推進協議会等（職場見学・キャリアデザイン研修の実施）
- ・ 滋賀県警察本部（防災啓発チラシの作成）
- ・ 県教育委員会（「しが☆まなび☆発見」での体験イベント実施）
- ・ びわこビズターズビューロー（海外向け観光情報HP“go.biwako”での情報発信）
- ・ JICA 関西（国際教育研修会の実施、滋賀県国際交流推進協議会 全体訪問研修会の実施）

(6) 海外渡航の支援 [自主]

ア. 渡航相談業務 5件

イ. 写真撮影 (パスポート用写真の撮影)

撮影日および時間：月曜日～金曜日 各9：00～16：30

撮影場所：パスポートセンター横写真室

利用者数：14,643人 (前年度 15,311人)

《 ボランティア、民間団体の活動促進》

1 ボランティアの活動促進

(1) S I Aボランティアの登録・紹介 (2012年3月31日現在)

国際交流支援 登録：49人、紹介：6件、延べ21人

ホームステイ・ホームビジット 登録：54人、紹介：2件、7家庭

通訳・翻訳 登録：113人、紹介：7件、延べ20人

登録者数合計 延べ216人 (176人)

・ボランティアオリエンテーション：随時

・関西国際交流ボランティアネットワーク会議 (KIV-NET) への参加

(2) 災害時外国人サポーター登録制度

災害時外国人サポーターの登録状況：53名

災害時外国人支援の講座・研修へ参加コーディネート 参加 延べ7人

10/13-14 近畿協議会実施 災害時初期対応研修 (京都市)

1/27 近畿協議会実施 通訳翻訳研修 (京都府)

3/4・11 災害時外国人サポーター養成講座 (主催：滋賀県)

(3) ボランティア情報の発信

メーリングリストによる情報提供：28件

ボランティア相談対応：40件

2 民間団体の活動促進

(1) 滋賀県国際交流推進協議会の運営支援 [自主]

参加団体：70団体 (地域協会部会 16団体、団体部会 54団体)

ア. 全体会議・部会会議

開催日：6月14日 (木)

会場：ピアザ淡海 (大津市)

参加者：34人 (全体会議)、32人 (両部会会議)

イ. 団体部会研修会

開催日：2月17日 (日)

会場：ブラジル・スーパー「スキナ ブラジル Skina Brazil」 (湖南市)

参加者：19人

内容：NPO 法人湖南ネットしが・学習支援教室「日和」活動紹介と「スキナ ブラジル」のブラジル食材とブラジルスーパー活用術の紹介。意見交換等

ウ. 地域協会部会研修会

開催日：11月22日（火）

会場：今津東コミュニティーセンター会議室（高島市）

参加者：27人

概要：高島市国際協会事業紹介、意見交換等

エ. 全体訪問研修会

研修先：JICA関西（神戸市）

開催日：3月2日（土）

参加者：40人

内容：多文化共生映画「孤独なツバメたち」鑑賞および監督講演会、JICA
関西事業紹介等

オ. 運営委員会

開催回数：3回

開催日：4月19日（木）、9月10日（月）、3月11日（月）

(2) 国際交流推進セミナーの開催 [自主]

開催日：6月14日（木）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：50人

講演1：「理性と感性の出会いの場づくり」

講師：学校法人立命館副総長

立命館大学国際平和ミュージアム館長 モンテ カセム さん

(3) 民間活動団体等への支援 [自主]

「おうみ多文化交流フェスティバル実行委員会」や「しが外国籍住民支援ネットワーク」の構成団体として運営委員への参画などを通じて活動を支援している。

- ・その他、後援事業数 16件、協力事業数 1件
- ・その他、県内の関連団体等からの相談に随時対応。

(4) 助成金の支給 [自主]

ア. 日本語学習支援活動助成事業

交付団体：なし

交付額：なし

イ. 外国人児童生徒就学・学習支援事業

交付団体：3団体

活動内容：外国人児童生徒を対象とした日本語指導、学習支援、居場所づくり

交付額：118,149円

| 団体名 | 交付額 | 活動地域 |
|--------------|---------|-------|
| ワールド・アミーゴクラブ | 60,757円 | 近江八幡市 |
| 子どもくらぶ「たんぽぽ」 | 47,200円 | 草津市 |
| 教育支援グループ「日和」 | 10,192円 | 大津市 |

3 JICA国際協力推進員の活動

独立行政法人国際協力機構関西国際センターから駐在（1人）

国際協力に対する県民の理解促進と支持の拡大および国際協力活動への参加促進を目的に活動した。

《 協会の基盤整備 》

会員向け事業やサービスの充実を図るとともに、講演会やワークショップ開催時など様々な機会を捉えて積極的な会員勧誘を行った。

来所者や国際情報サロン利用者に対して事業の案内を行い、会員確保に向けて継続的な啓発を行った。

* 税額控除証明書を2012年11月29日に取得

（個人からの寄付《会費も含む》について、税額控除される法人として認められた。）

会員数

| | | |
|------|--------------------------|---------------|
| 個人会員 | ： 393 人（一般 387 人、学生 6 人） | （前年度末：417 人） |
| 団体会員 | ： 94 団体 | （前年度末：96 団体） |
| 計 | 487 会員 | （前年度末：513 会員） |